



打上っ子だより

唐津市立打上小学校
令和6年11月7日(木)
第7号
文責 校長：山本 英俊

学校 HP はこちら ↓



教育目標 地域や仲間を思い 夢に向かって輝く子どもの育成

実りの秋 ～体験活動・キャリア教育の充実～

朝夕は肌寒く感じることもありますが、日中は秋空が広がり、とても過ごしやすい季節となりました。夏の頃には、ひまわりが一面に咲いていた学校近くの畑には、色とりどりのコスモスの花が揺れています。

10月はたくさんの活動や取り組みを実施し、多くの学びを得ることができました。

「おもしろ落語笑学校」と「佐賀神楽団公演」では、日本の伝統芸能に生で触れることができ、貴重な体験となりました。

4年生は、助産師さんと妊婦さん(宮崎先生)のもとで「命の授業」、そして唐津市社会福祉協議会の「福祉教育プログラム」で、点字と視覚障害について学習しました。5年生は、学校応援団の金嶽さんによる「お米講座」で、田植えと稲刈りの体験をもとにした米作りのまとめをしました。1年生は、食品衛生協会唐津支部の方々の指導による「手洗い教室」、社会福祉協議会北部支所の「世代間交流事業」として、老人クラブの方と花植え交流をしました。2・3年生は、唐津農林事務所の「ふるさと『さが』水と土探検支援事業」の活動で、石室地区の圃場での「さつまいも収穫体験」、そして6年生は、名護屋城博物館の見学と海月での「お茶体験」をしました。

いくつもの体験活動や学習活動を通して、日常の教科等の学習とはまた違った有意義な学びを得ることができています。多くの方々のご協力により教育活動がさらに充実し、子ども達が広く深く学べていることを大変ありがたく感じています。関係者の皆様に心より感謝いたします。

命の授業



お米講座



おもしろ落語笑学校



さつまいも収穫体験



世代間交流(花植え)



本は心の栄養

先日の全校集会では、「読書の秋」に合わせて「本」「読書」について話しました。

まず初めに、先日亡くなられた「せなけいこ」さんの絵本「いやだいやだ」と「ねないこだれだ」を紹介しました。思った以上に多くの児童がこの絵本を知っていて、自分で読んだことがある、小さい頃に家で読んでもらったことがある、という児童もたくさんいました。

次に、漢字の「木」と「本」の成り立ちについて話しました。

「木」にとって重要なはたらきをするのは「根」、根は「目に見えない」けど大切な役割を果たしている、その「木にとって大切な根っこ」の部分がひとつの印となり、「木」の字に一画加わったのが「本」という字。目には見えない大切な「根」は私たちの成長のもとになる「心」、その「心の栄養」になるのが「本」です、と。

本は、私たちの心を大きくしたり、広くしたり、時に夢や希望を与えてくれたりするものです。本は、私たちにとって「大切なもの」なのです。

10月27日～11月9日は、全国「読書週間」です。今年のポスターには、「この一行に逢いにきた」の言葉があります。一冊の本との出会い、その本の中の一行との出会いが、楽しさや喜びになるということでしょう。打上小では、11月5日～9日に「図書館まつり」があります。これからもたくさんの本と出会い、心を豊かにしていきましょう。〈以上〉

昨日の昼休みに図書室に行くと、図書委員さんがいろいろなコーナーを準備して、たくさんのおともたちが本と触れ合いながら楽しく過ごしていました。

『根を養えば樹は自ずから育つ』というように、まずは「根」をしっかりと育てていきたいと思います。本は、大人にとっても大切なものだなあと改めて感じます。



入賞おめでとう

青少年読書感想文コンクール

【県佳作】6年：平河逢夢さん

【市特選】2年：松尾彩央さん

【市入選】1年：平河 樹さん

4年：松尾 瑠さん

【市佳作】4年：岡部真愛さん

3年：鳥越 響さん

2年：坂本弥子乃さん

5年：榎 祐斗さん

5年：坂口冴太郎さん

6年：平河逢夢さん

3年：坂本圭祐さん

6年：宮田果歩さん

佐賀県児童文集「きらり」

【きらり賞】6年：坂口葉奈さん 5年：松尾璃来さん

【特 選】 3年：坂本晟翔さん

【入 選】 4年：松尾悠翔さん

